

インドネシア介護人材育成 の取り組みについて

(介護職)



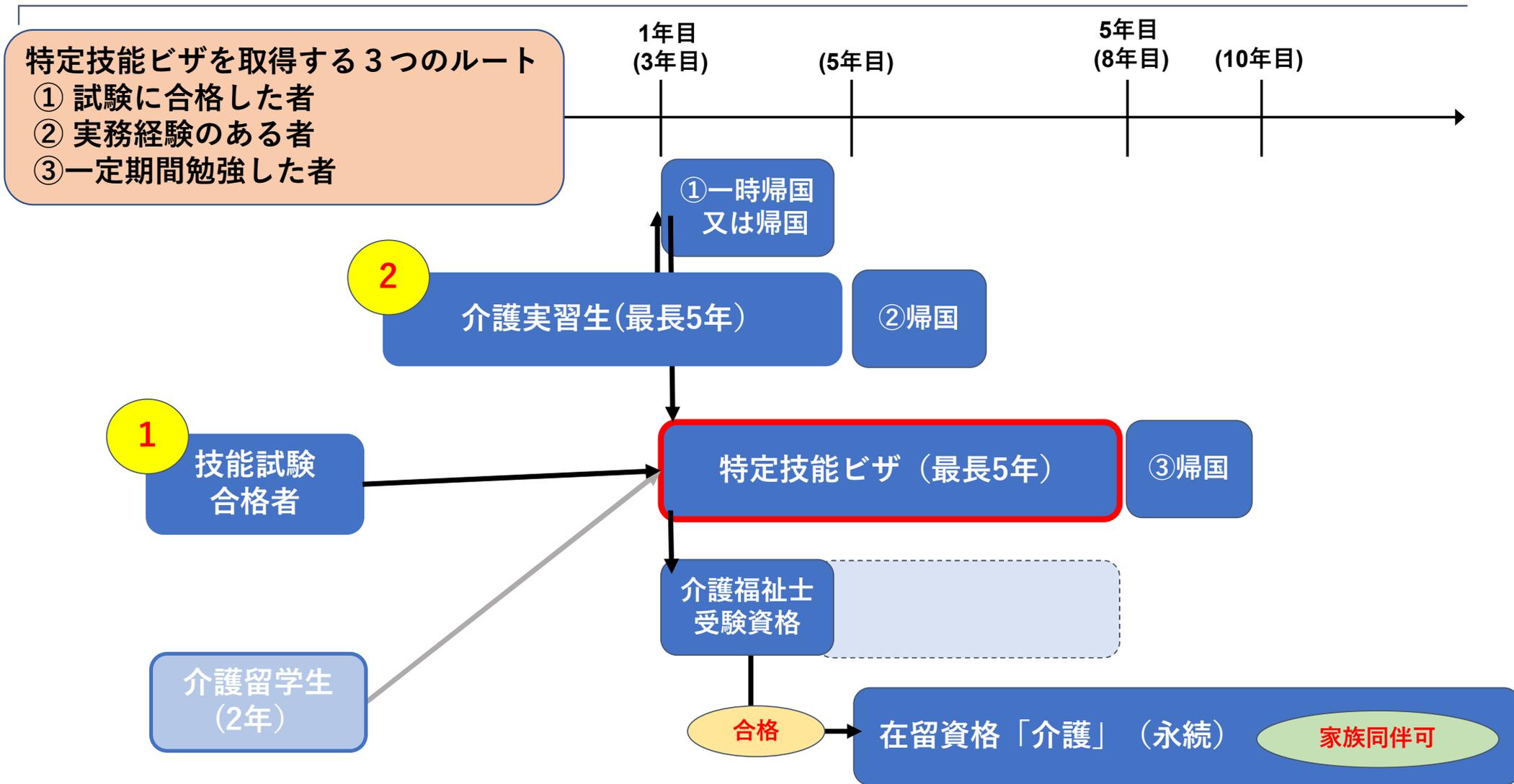
インドネシア介護人材教育センター

< ご説明の要旨 >

弊社の特徴

- ① 被用者資質（日本語能力 3 級相当・海外看護学校卒業生）
- ② 人材の募集は卒業生を対象に各大学にて実施
- ③ 生徒の自己負担額11万円（大学より自己負担金削減の要請あり）
- ④ 現地日本語教育は国公立私立大学所属の日本語講師が実施
- ⑤ 試験合格後に面接を実施、入職まで5カ月

<外国人介護人材～想定される在留オプション～>

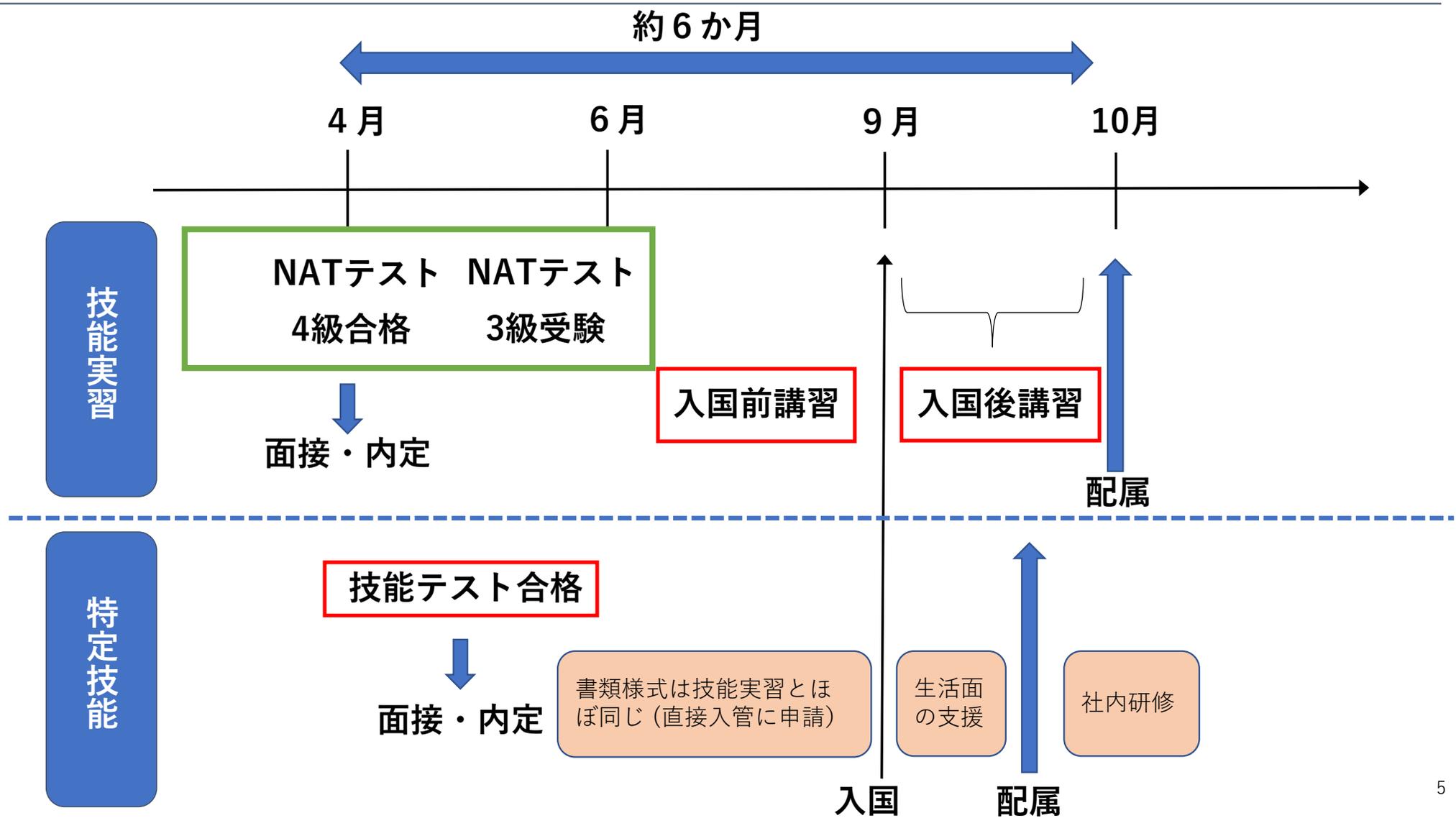


< 外国人介護人材～特定技能・技能実習の比較 >

項目	特定技能「介護」 (特定技能コース)	技能実習「介護」 (技能実習コース)
介護福祉士国家試験	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受験は前提ではなく、試験対策の負担はなくフル稼働可。但し、本人が国家試験を希望する場合が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受験は前提ではなく、試験対策の負担はなくフル稼働可。但し、本人が国家試験を希望する場合あり
配属までの期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 面接から5か月で現場に配属（書類準備に2か月、審査に2か月、入国準備に1か月） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 面接から6ヶ月で現場に配属（書類準備に2か月、審査に2か月、入国準備に1か月、入国後講習に1か月）
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 制度の目的が就労目的で、勤務場所や業務内容に柔軟性あり。同一法人内の配置転換は自由 ■ 職員配置基準への算入は現場配属時から 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本は、看護学校卒業生が対象。また、現在は就労目的の特定技能ビザに移行する前の実習期間としての役割
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当初より勤務先を自由に選べるため、短期間で離職する可能性あり ■ 看護学校卒業生ではない場合、ミスマッチにより入国後短期間で帰国する可能性あり（日本人が介護職から離職するのと同様の理由） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当初3年間は同一施設のみでの実習。同一法人内でも配置転換はできない ■ 職員配置基準への参入は、現場配属から6か月後。但し看護助手は現場配属時から） ■ 実習制度上のルールにより、監理団体費用が高額になる場合あり（毎月訪問により月次監理費4万円）

<面接から入職までのスケジュール>

約6か月



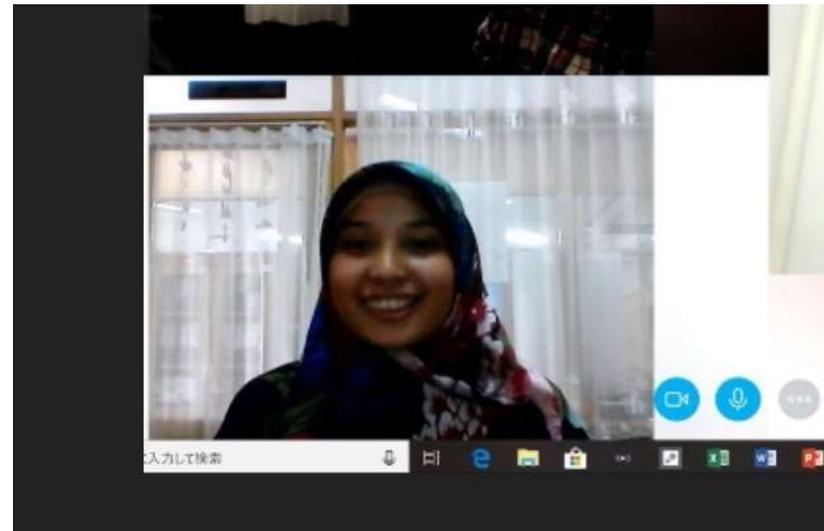
< 説明会と授業風景 >



< 介護人材教育プログラムの内容 >

学習項目	期間	講師	内容
看護・介護全般	3~4年間	大学看護学部講師	半年から1年間の病院での実習で患者や高齢者のお世話、認知症の理解など
N4合格	4か月間	大学日本語学科講師	みんなの日本語初級I、II
N3受験（一部合格）	2か月間	大学日本語学科講師	中級へ行こう、ニューアプローチ中級日本語
介護の日本語	3週間	EPA介護の経験者	会話で学ぶ介護の日本語、場面から学ぶ介護の日本語、
介護現場の理解	2週間	EPA介護の経験者	国際厚生事業団作成の日本語・インドネシア語併記の教材
日本の文化・習慣・マナー	1週間	大学日本語学科講師 日本人講師	日本への留学生向けの「日本事情」コースを実施

< 現地面接およびネット面接(試験合格後に実施) >



< 入国後の待遇 >

項目	EPA経験者	一般生徒
手取り給与額（夜勤手当除く）	16万円台	12万円台
ボーナス支給（日本人職員同等基準）	有	初年度寸志
国家試験対策	要	希望者のみ
その他	永住・個室希望あり	—

< 職場風景 >



<お問合せ先>

株式会社メディカルラボテックス
インドネシア介護人材教育センター
担当：近江、根本
電話/ファックス: 03-6753-0061
e-mail: info@medical-labotics.com